

報道機関各位

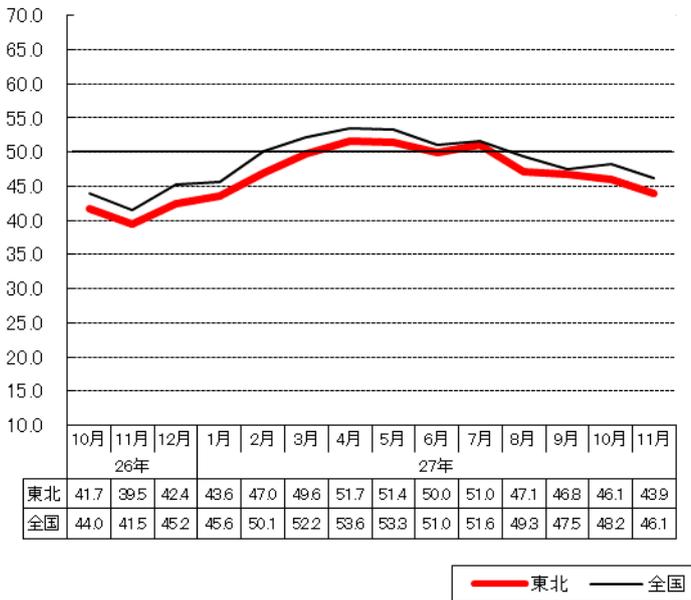
公益財団法人東北活性化研究センター
「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 27 年 11 月東北分
(新潟を含む東北 7 県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：海輪 誠・東北電力(株)取締役会長）は、このほど、「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 27 年 11 月東北分（新潟を含む東北 7 県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断 DI は「43.9」と4か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲2.2ポイントとやや下回り、4か月連続で景気判断の基準となる 50 を下回った。

現状判断DIの推移



・家計動向…住関連専門店、通信会社、都市型ホテル等で DI が前月を上回ったが、観光型ホテル、百貨店、一般小売店等の業種で DI が前月から下回った。DI は「42.3」(▲2.6)と4か月連続で前月を下回り、基準値 50 を6か月連続で下回った。

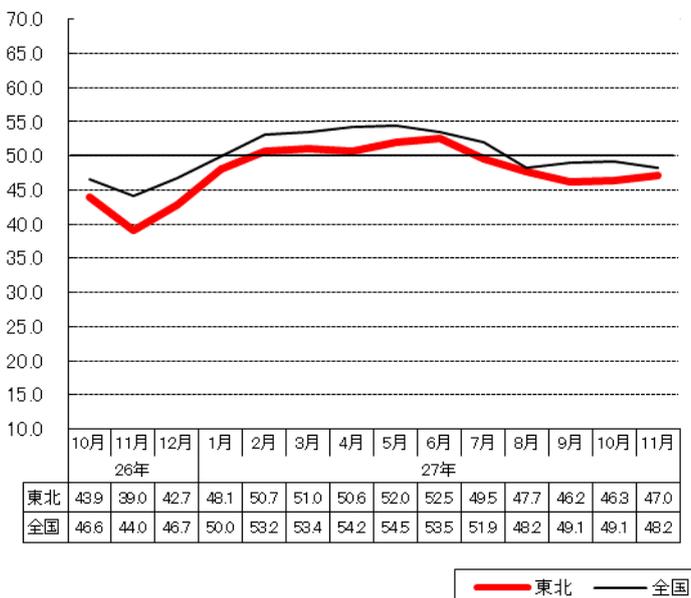
・企業動向…司法書士・経営コンサルタント、金融業等で DI が前月を上回ったが、出版・印刷・同関連産業、輸送業、電気機械器具製造業等の業種で DI が前月から下回った。DI は「47.6」(+0.1)と2か月ぶりに前月を上回ったが、基準値 50 を4か月連続で下回った。

・雇用動向…DI は「47.7」(▲3.4)と2か月ぶりに前月を下回り、基準値 50 を5か月ぶりに下回った。

2. 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

先行き判断 DI は「47.0」と2か月連続で前月を上回った。前月と比較し+0.7ポイントとわずかに上回ったが、景気判断の基準となる 50 を5か月連続で下回った。

先行き判断DIの推移



・家計動向…高級レストラン、タクシー、設計事務所等で DI が前月を上回ったが、一般レストラン、観光型ホテル、都市型ホテル、コンビニ等の業種で DI が前月から下回った。DI は「45.3」(▲0.6)と2か月ぶりに前月を下回り、基準値 50 を5か月連続で下回った。

・企業動向…出版・印刷・同関連産業、食品品製造業、広告代理店等の業種で DI が前月を下回ったが、それ以外の業種では前月から DI が横ばいもしくは上回った。DI は「51.2」(+4.9)と3か月ぶりに前月を上回り、基準値 50 を5か月ぶりに上回った。

・雇用動向…DI は「50.0」(+1.1)と、2か月ぶりに前月を上回り、基準値 50 を2か月ぶりに上回った。

<参 考>

■D Iの推移※

(1) 現状判断(方向性) D I

	26年			27年										
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
東北現状	41.7	39.5	42.4	43.6	47.0	49.6	51.7	51.4	50.0	51.0	47.1	46.8	46.1	43.9
家計動向関連	40.2	38.6	41.3	42.5	46.0	49.1	51.6	53.0	48.6	48.7	46.2	45.6	44.9	42.3
企業動向関連	44.0	40.5	44.6	44.6	50.0	50.6	53.0	46.4	55.4	56.1	47.5	48.7	47.5	47.6
雇用関連(参考)	46.6	43.2	45.5	48.9	47.7	51.1	50.0	51.1	48.9	56.0	52.3	51.1	51.1	47.7

(2) 先行き判断D I

	26年			27年										
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
東北先行き	43.9	39.0	42.7	48.1	50.7	51.0	50.6	52.0	52.5	49.5	47.7	46.2	46.3	47.0
家計動向関連	43.5	38.1	41.8	47.3	51.0	51.2	50.7	52.8	51.0	49.3	46.9	45.0	45.9	45.3
企業動向関連	45.2	40.5	44.6	51.8	50.0	49.4	51.2	50.0	56.5	48.2	49.4	46.8	46.3	51.2
雇用関連(参考)	44.3	42.0	45.5	46.6	50.0	52.3	48.9	51.1	54.5	53.6	50.0	52.3	48.9	50.0

※D I (Diffusion Index) について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 平成 27 年 11 月 25 日～30 日

回答者数 202/210 名、回答率 96.2%(全国 1,862/2,050 名、90.8%)

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター (担当: 萱場 喜樹)
〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10
TEL: 022-225-1426 FAX: 022-225-0082

<別 紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「やや良くなっている」

（乗用車販売店）…新型HV車の発表を来月に控えて、客の反応も上向きになってきている。経年車からの需要はもとより、割と高年式の客からの代替需要も高まってきている。

（高級レストラン）…高単価商材への反応が良く、例年に比べて客単価は好調に推移している。また、3世代家族の利用が多くみられており、少人数での家族会食が増えてきている。

（通信会社）…年末キャンペーンの効果がようやく表れ始めており、放送関連の新規契約者が増加している。ただし、通信関連は横ばいのままであり、新規契約者がなかなか伸びない状況である。また、解約者は全体的にやや減少傾向にあり落ち着いている。

（観光名所）…11月後半の三連休にスタートしたイベントにより、来客数が好調に推移している。

（輸送用機械器具製造業）…外部環境が緩やかに好転している。また、例年11～1月にかけては繁忙期となる。

○「変わらない」

（スーパー）…比較的天候が穏やかであり、来客数は増加している。ただし、鍋物などの季節商材が不振である。

（住関連専門店）…なかなか来客数が増加しないため、売上も横ばい状態が続いている。

（一般レストラン）…今年は紅葉の時期が例年より長く、それに伴い観光に訪れる人も多少は多かったようである。そのため、当店の来客数も若干の増加となっている。

（都市型ホテル）…今までは来客数が安定していたが、11月も後半になり寒さのために観光客が北に足を運ばなくなったことで、客室の稼働率が若干落ち込んでいる。ただし、宴会シーズンでもあるので、問い合わせも含めて宴会利用が増加しているため、トータルとしては変化のない状況である。

（美容室）…高額なエステの来客数は減る一方であるが、ここ最近では1,000円カットなどの客が増えている。

（住宅販売会社）…大型住宅の受注はないものの、小型住宅の受託販売数が伸びている。

（リフォーム業）…11月は前月まで受注した工事が遅れなく完了しており、計画値並びに前年を上回っている。

（建設業）…工事の出件量は減少傾向にあるが、手持ちの工事の消化率は高い状態が続いている。

（公認会計士）…クライアントの決算状況からみると、利益はやや高止まりで推移している。建設業では売上が減少しているが利益は確保している。また、小売業も売上減少のなか建設業ほどではないものの利益を確保している。その他の業種については、売上減少、損失計上をしている企業がある。

（飲食料品卸売業）…メーカーの値上げが非常に厳しい。通常の売価ではなかなか販売することが難しく、商品の回転が悪くなっている。逆に、賞味期限が近いものや簡便性が高い商品などを特売価格で売る場合、非常に売行きが良くなるという状況がここ数か月続いている。

（企画業）…公益事業などの得意先における発注案件数が少ない状況である。そのため、業者間の価格競争が激化しており、低価格化が進行している。

（職業安定所）…新規求人数の前年比は引き続き減少しており、有効求人倍率も5か月連続で減少している。また、卸小売業などで事業廃止が小規模ながら続いている。

○「やや悪くなっている」

（商店街）…11月に入り、従来よりもやや暖かな気候が続いている。そのため、前半は軽衣料の動きが活発であったが、最大の単価を示す重衣料の動き、特にコート、ジャケット関連の動きが弱い状態である。

- (書店) …高額商材の楽器、高単価の美術書などは動いているが、一般客の販売量が引き続き低迷している。
- (コンビニ) …前月までは来客数が7か月連続で前年比1～3ポイントの増加となっていたが、今月はマイナスに転じている。特に夕方～夜間の来客数の減少が顕著であり、酒類や珍味などのつまみ類の売上減少につながっている。
- (家電量販店) …季節商材である暖房用品がまだ売れていない。また、エアコンなど白物家電は前年並みであるものの、期待をしていた4Kテレビ、パソコンなどの販売量は前年比95%となっており、全体的に少し弱含みとなっている。
- (ガソリンスタンド) …価格競争が局地的に激化しており、全国平均価格より10円近い安値での販売が続いている。このような一部の安売り業者の影響で採算を割る販売が続いている。冬場の灯油需要により収益悪化を防いでいるが、暖冬の影響で販売量も減少しており、灯油の販売量は今月中旬までは前年比80%前後で推移している。
- (観光型ホテル) …観光シーズンにもかかわらず団体客が減少しており、その分売上も減少している。
- (旅行代理店) …パリの同時多発テロを筆頭に、海外ではいろいろなテロが発生している。そのため、年末の海外旅行において、団体旅行、個人旅行共にその影響が表れ始めている。
- (出版・印刷・同関連産業) …1～2か月前までは売上が前年を上回っていたが、今月は前年を5%下回っている。
- (電気機械器具製造業) …ここ3か月の間で、明らかに半導体製品の受注量が低下している。
- (人材派遣会社) …求人情報のWeb検索を利用する人が増えてきているが、条件別でソートできるWeb検索の特性から、条件の良い求人には応募者が集中し、比較的条件の良くない募集は全く応募がこないという二極化現象を助長している。後者には地元の中小零細企業が多く、採用難が企業活動に悪影響を与えている。
- (新聞社[求人広告]) …小売業、サービス業において人手不足感はあるものの、積極的に採用するには至っていない。

○「悪くなっている」

- (百貨店) …来客数、購入単価、販売額共に落ち込みが激しく、中間顧客層の来店頻度や購買動向にこれまで以上の鈍化がみられている。また、気温低下に伴う防寒用品の動きも例年以上に鈍く、ブーツやマフラー、手袋、帽子といった商品に対するシビアな購買姿勢がより色濃くなっている。さらに、10月後半～11月にかけての客の動向は、これまでのやや悪いという状況から一気に悪い状況へと変化してきており、バーゲン品の展開や割引などによるプライスマリットを付加するだけでは購入につながらない。
- (衣料品専門店) …暖冬により、今月は例年よりも暖かすぎる日が続いている。そのため、秋冬物の乗換えに弾みがかわずに来客数が伸びていない。夏の終わりが早く秋口は良かったのだが、ここに来て冬物の意識が薄れてしまい、来客数が厳しい状況が続いている。

(2) 先行き判断理由

○「やや良くなる」

- (乗用車販売店) …新型HV車の発売初期の高需要がどこまで続くかが鍵となるが、しばらくは市場の活性化が見込めると期待している。
- (高級レストラン) …年末商品などは、高単価の商品から予約申込が入っている。また、年明けの予約も早い段階で入っており、好調である。
- (一般機械器具製造業) …国内については相変わらず受注量の増加が見込めない。しかし、海外向けの販売に関しては、やや増加する見通しとなっている。
- (経営コンサルタント) …これから本格的な年末商戦に入る。地方にとっては最大の節季行事であり、消費拡大を期待している。

(新聞社[求人広告])…当市においては、来月早々に地下鉄が開通する。年末商戦から初売りにかけて前年を上回る動きになることを期待している。

○「変わらない」

(スーパー)…12月は大手企業における賞与の支給状況に期待したい。しかし、客の買物動向に特に大きな変化はみられていないので、平均単価、来客数、買上点数共に、前月と同様の傾向になるとみている。

(ガソリンスタンド)…需要の回復が困難ななか、販売価格の下落による収益の低下が改善される見込みは薄い。販売量もよほどの寒波が来なければ回復が見込めず、苦戦が続く見通しである。

(農林水産業)…そばの価格が上昇したものの、米価やその他農作物の価格はT P P合意後の情勢が不透明なこともあり、予断を許さない状況が続くとみている。

(電気機械器具製造業)…年度内の受注は確保できている。ただし、利益率の低下や人手不足という不安材料があるので、このままの状況が続くかどうかは疑問である。

(建設業)…技術者に代表される人手不足や資材不足などは一時より緩和した感があるものの、年度内は現状のままで推移するとみている。

(職業安定所)…タクシー会社や介護事業所において、事業縮小の動きがある。

○「やや悪くなる」

(百貨店)…今まで毎日買物をしつつ来店ポイントを付与していた客が、ポイントのみを付与して帰ってしまう傾向が徐々に増えている。また、中間顧客層全般において、ファッション関連に対する百貨店での購買意欲が低下しており、防衛型の消費が更に顕著になってきている。

(コンビニ)…単価が良くない傾向は今後も続くとみており、回復する兆しはみえない。また、客の購買量には差があり、サラリーマンの財布のひもは非常に固く、表情を見ても渋いといった様子である。

(一般レストラン)…消費者は日々の暮らしに対して非常に現実的になっており、これまでは割と気楽にランチに来ていた主婦の客も、徐々に財布のひもが固くなってきている。このままでは、ますます景気は冷え込んでいくのではないかとみている。

(観光型ホテル)…忘年会や新年会の動きは前年並みであるが、今回の年末年始は曜日の関係で休日が少なく、その分の減少が見込まれている。また、先行きの予約についても今しばらくは芳しくない状況が続くとみている。

(都市型ホテル)…これから北海道新幹線が青森～函館間で開通する。中国からのチャーター便の就航が青森と函館に決まり、海外と国内の目はそちらに向いてしまっている。観光とビジネスの流れが急激に変化するのではないかと危惧しており、今後は非常に厳しい状態になるとみている。

(旅行代理店)…テロの影響により、フランスのみならずヨーロッパ各国やアメリカ方面への波及がみられている。検討していた海外旅行を延期する客が多くなっており、全体的に販売量が減少する見込みとなっている。

(食料品製造業)…売上は変わらないが、原材料費、人件費が上昇しているため、利益が減少する傾向にある。

(広告業協会)…例年であれば、年末には初売りキャンペーン広告の引き合いがあるが、今年は出足が遅く引き合いが少ないのが気にかかっている。また、自動車や不動産などの高額商材については、消費税率10%への引上げ前の駆け込み需要まで待つしかないという話も聞いている。

(アウトソーシング企業)…前年と比べて受注量が増えているわけではないため、先行きが良くなるとは考えにくい。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上